

高等部教育目標				
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う				
探究型カリキュラム教育/学習目標				
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける				
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning				
1. 自分事として ＜オーナーシップ/一人称＞	2. 社会/実践を通して ＜PBL 型/アクション＞	3. 知識を大事に ＜自ら得る知識/高める関心＞	4. ミニケーションを通して ＜自分/他者のやりとり＞	5. 生徒・教員が共に ＜共に探究する関係性＞
上位学習目標				
【知識・技能】 ・自分が関心のある社会的課題の内容について、自分の言葉で説明することができる ・社会的課題に取り組んでいる団体、組織を訪れてフィールドスタディを実施することができる 【思考力・判断力・表現力】 ・自分が関心のある社会的課題について他者に自らの意見を伝える事ができる ・自分が関心のある社会的課題について調べ、その解決方法を考案することができる 【学びに向かう力・人間性】 ・主体性をもって、粘り強く学習課題に取り組もうとしている。 ・社会課題を自分事とし、社会に参画・貢献する姿勢を持とうとしている。				
下位学習目標				
【知識・技能】 ① 自分が関心のある社会課題の内容について、自分の言葉で説明することができる ② 社会課題に取り組んでいる団体や組織を訪れてフィールドワークを実施することができる ③ データや資料を適切に使って、効果的なプレゼンテーションを行うことができる 【思考力・判断力・表現力】 ① 自分が関心のある社会課題について、他者に自らの意見を伝えることができる ② 自分が関心のある社会課題について調べ、その解決方法を提示することができる 【学びに向かう力・人間性】 ① 数ある社会的課題の中から、自分自身がより理解を深め、課題解決をしたいと思うことができるものをみつけようとしている ② 社会課題と向き合う中で、その課題を学ぶことが自分自身の人生においてどのような意味を持つのか関連付けようとしている ③ 社会的課題に向き合う中で、社会的・文化的・歴史的な構造と人為との関係について考察しようとしている				

授業日	1 / 1 5 (水)	3 学期授業回数	2 回目 / 全 6 回 + 試験
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】① 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】①② <本時の具体的な目標> これまでの調査から得た情報を対話型論証モデルにまとめることができる。		
時間 授業内容	0	連絡事項 ① 探究スライド 1～探究スライド 37 を本日 1 / 1 5（水）迄に完成させる。 ② 本日、中間発表の役割分担を決める	
	5	グループワーク ①, ②が終わり次第, 担当教員よりチェックを受けて班ごとに解散する。  図 1) 各班で探究スライド 1～探究スライド 37 を完成させる。本日が締切のため、講義のほとんどをグループワークに割り当てた。班によって進捗具合の差は多少あったものの、全ての班がこの時間で完成させていた。 探究BASIC 中間発表会 ★発表の手順 ①発表グループは、教壇でプレゼンテーションを行う(5分以内)。 ②傾聴者は配布された付箋に「質問」を記入しながら能動的に参加する。 ③発表終了後、質疑(5分)。その後、指示により付箋を白紙のA3用紙に貼り付ける。 ④全グループが終わればリフレクション ※注意事項 (1)発表会であるが、質問作りをメインにした、「三角ロジック」から「対話型論証」への重要なステップと位置付けること。 (2)「質問」は基本的に何でもよいが、質問の視点を①「データに対する質問」、②「データから言えること(論拠)に対する質問」、③「主張に対する質問」と焦点化すると自分だけでなく、相手の思考の整理にも役立つ。 (3)付箋紙による「質問」は、発表者がそれ迄になかった視点や考え方を知るチャンスにもなる。そのため、「なるべく何でも……(これは記憶したくてもよい)」という枠組みで「質問」を作ってみよう。 (4)発表者は付箋紙の「質問」を整理し、「質問」に対して反駁を考え、さらにそれを取り込んでより有意で説得力のある「結論」を導いていく。だから「質問」は発表者への「差し入れ」であり、この「差し入れ」である「質問」を高次の結論や提言につないでいくのが「対話型論証」である。 図 2) 次回は中間発表会となるため、左図の手順・注意事項を見せている。また、各班で発表時の役割分担を決めている。	
	5 0	担当教員よりチェックを受けて終了	
評価方法	① 結果, ②考察, ③主張の観点から, 調査結果の情報を整理し, 分析ができている。		
宿題指示	次回中間発表に向けて, 各班で原稿作成およびプレゼン練習をする。		